

2024年12月6日
株式会社三菱UFJ銀行

平和不動産株式会社と「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}）は、平和不動産株式会社（代表取締役社長 土本 清幸^{つちもと きよゆき}）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるタームローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

<p>KPI：CDP気候変動スコア（CDPスコア統合後は統合後のスコア） SPT：達成判定までの期間にわたりCDP気候変動スコアA-以上を維持 （CDPスコア統合後は統合後のスコアA-以上を維持）</p>
--

平和不動産株式会社は、長期ビジョン「WAY2040」の成長戦略の中の一つに「社会価値の向上～サステナビリティ施策の推進～」を掲げ、“Bazukuri Company”としての活動により、環境・社会課題の解決に取り組み、各ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを通じて満足度を高めることで、サステナブルな社会の実現に貢献します。本ローンの取組を通じ、今後もサステナビリティ経営の実践を一層充実させ、評価向上に向けた非財務情報を含めた透明性のある開示に努めてまいります。

【本ローンの概要】

実行日	2024年12月6日
貸付人	株式会社三菱UFJ銀行
実行金額	40億円
資金使途	日本橋兜町・茅場町エリアの街づくりに資するための事業資金

また本ローンは、サステナビリティ・リンク・ローン原則に準拠している旨、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より第三者意見書を取得している「三菱UFJ銀行グリーン及びサステナビリティ・リンク・ファイナンスフレームワーク」に則って実行しています

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFJ Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。
英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上